

情報通信研究機構

NICT 先端研究

80

TYPE OF
INDUSTRY



科学技術・大学

ビッグデータ分析は科学技術分野だけでなく、輸送のトコフィック分析、ウェブマーケティングなど幅広い分野で注目を集めており、分析対象データの

ビッグデータ分析 ミドルウェア開発

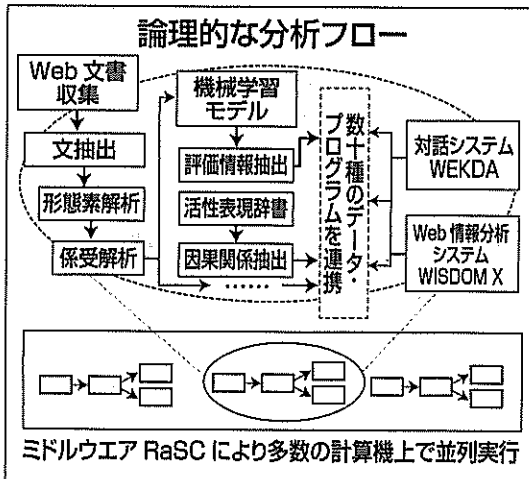
ユニバースコミュニケーション研究所
データ駆動知能システム研究センター主任研究員 **田仲 正弘**
09年NICT入所。15年ドコモモバイルサイエンス賞、16年前島密賞受賞。博士（情報学）。



範囲・規模は拡大の一易にするミドルウェアで、新たな課題が明らかになってきた。既存システムWEKDAで、分析の高速化が重要性を増している。をまとめたソフトウェア用である。高度な分析ベースや分析プログラムを複数し、多くの並列処理ミドルウェアでは、それ専用の新たな分析プログラムを作成すること

機能を持たない。処理を行うミドルウェアを介し相互接続する。

我々は、独自の仕様アRaSCを独自開発した。RaSCは、異なる計算機上で動作させて、応答性を向上させる。高速な相互接続を実現する。結果、論理的な分析フローを定義するだけで、各分析プログラムがどの計算機で実行されているかは意識せず、並列処理を高速に実行できる。



RaSCはすでにオープンソースとして公開され、誰でも利用可能である。今後、人工知能分野の新たなブレークスルーとして応用が広がっている深層学習への対応などを進めていく。(火曜日に掲載)